



～高品質な水なす生産を目指して～

泉州水なすは、泉州地域を代表する特産品です。ブランド力・収益性ともに高い品目ですが、夏季の高温や生育不良による品質・収量低下が問題となっています。



【巡回指導の様子】

農の普及課では、栽培技術の高位平準化による生産者の収益向上を目的として、令和2年度からJA大阪泉州と協同で、水茄子生産出荷部会の希望者を対象に巡回指導等を行っています。

令和3年度は、施設14名(3~6月)、露地28名(6~9月)をJA営農指導員とともに巡回指導しました。この結果、巡回参加者の栽培技術が向上し、秀品率等の増加につながりました(下表参照)。

【巡回参加者の優良事例(施設)】

施設	R2	R3	前年比
	総出荷量(t)	6.18t	8.09t
AB品率(%)	26.9%	45.1%	167%

【巡回参加者の優良事例(露地)】

露地	AB品率(%)		
	R2	R3	前年比
B氏	15.8%	27.3%	173%
C氏	12.7%	20.5%	162%

【水なす共同巡回参加者のAB品率の比較】

AB品率	施設		露地	
	部会平均	巡回対象者平均	部会平均	巡回対象者平均
R3	46.4%	40.0%	29.50%	29.40%
R2	39.6%	32.7%	24%	22%
前年比	117%	122%	123%	134%

※「巡回対象者」については、2年連続参加者のみ

当課では、引き続き巡回指導や講習会等により、高品質な水なす生産を支援していきます。

農林漁業者と食品事業者の交流会を開催しました!

新たに販路開拓や6次産業化に取り組む泉州地域の農林漁業者と、地元産品に関心のある食品関連事業者との交流を深め、新たな事業者間連携のきっかけとするため、11月18日(木)に南海浪切ホール(岸和田市立浪切ホール)にて交流会を開催しました。

専門家による地元食材を活用した商品開発事例の講義を皮切りに、農林漁業者12者が食材の特徴やこだわり等のPRを行い、さらに各ブースで食品関連事業者30社(48名)との意見交換、フリー商談が行われました。

参加者からは「良い出会いがあった」「生産者と直接話ができて今後につながった」「近くの生産者と知りあえて良かった」「新商品開発に使える食材の幅が広がった」などの声を聞くことができました。

コロナ禍の影響が残る厳しい状況ですが、農の普及課では生産者と食品関連事業者がネットワークを築き、新たな取組みを生み出すチャンスでもあるととらえて、販路拡大・商品開発に向けた支援を引き続き行ってまいります。



【会場の様子】



【農業者PRタイム】



【フリー商談の様子】



「夏季きくな栽培マニュアル」作成しました



【栽培マニュアル】

農の普及課では、きくなの夏季栽培生産者への巡回指導を行っています。

また、これまでの普及活動で得た知見や実証試験の結果などを踏まえ、栽培マニュアルを作成しました。

きくなの夏季栽培に興味のある方がいらっしゃいましたら、お気軽に農の普及課までご連絡ください。



★★ おめでとうございます! ★★

令和3年度大阪府農業生産・経営近代化
優秀農業者等選奨事業知事表彰



農の匠
植田吉宏さん

岸和田市で、軟弱野菜生産中心の経営を展開されています。栽培が難しい夏場にも、高い技術力で高品質な「きくな」を出荷されています。

